

千波中学校区小中一貫教育

水戸市立 千波小学校・千波中学校

千波小学校・千波中学校では、これまで「安心できる学校生活」「確かな学力」をねらいとして、小学校、中学校間での小中連携を進めてまいりました。

平成24年度からは、水戸市の小中一貫教育「まごころプラン」に基づき、これまでの取り組みを発展させて連携型小中一貫教育推進校として、小中一貫教育を推進してまいります。

- 「**水戸市の小中一貫教育**」とは、9年間を見通し、子どもの発達と学びの連続性を重視した系統的・継続的な指導を行っていく教育のことです。
- 「**連携型小中一貫教育推進校**」とは、敷地や校舎が離れている小中学校が共通の目指す児童生徒像を設定し、共通理解の下に学校を運営するものです。児童生徒が計画的に交流を行うとともに小中学校の職員が協力して、9か年にわたる一貫教育を行います。

＜千波中学校区の目指す児童生徒像＞

心豊かに、たくましく、自立する子どもの育成

自ら学ぶ

- 小中学校の職員が、児童生徒の学力の現状を共通理解し、基礎的・基本的な学力の定着など、小中が協力して「学力向上」を目指した学習指導の充実を図っていきます。
- 小中学校の職員が、互いの課題や問題を共有し、共に指導を進めていけるように、「自分の考えをしっかりとち、はっきり説明する。」という視点で合同研修会や相互授業参観を行い、各学校における学習指導の充実を図ります。
- 教科の専門性を生かした授業の在り方を工夫し、授業の改善を図ります。小中学校の教員の交流を図り、学習内容がより充実するように、授業の質を高めます。



思いやりの心をもつ

- 小中学校共通で「朝のあいさつ運動」を行い、明るく元気な学校生活を目指します。
- 小中学校の教員が、互いに学校を訪問し、児童生徒の生活の様子を見守ったり、学習を支援したりします。
- 水戸市独自の道徳の副読本「まごころ」を活用し、平成23年度の道徳授業研究の成果を生かして、小中で一貫した道徳教育を推進します。



進んで運動する

- 小中学校で共通の「姿勢づくり」の運動を取り入れるなど、9年間を見通した計画的な体力づくりに取り組みます。
- 中学校の教員（体育、部活動顧問等）が小学校へ出向き、専門的な立場から陸上等の指導を行います。
- 小学校6年生を対象にした部活動見学等の機会を設け、中学校生活に対する意識を高めます。



郷土を愛す

- 「水戸市歌」、「水戸郷土かるた」、社会科副読本「みと」等を活用し、学校や身近な地域の歴史・文化等に愛情をもつことができるような教育を推進します。
- 社会科の時間や総合的な学習の時間において、水戸に関する調べ学習等を行い、郷土に関する理解を深めます。

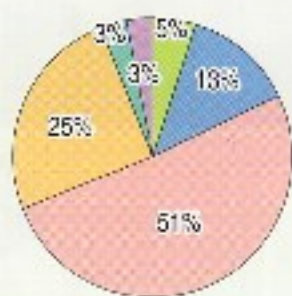


千波小・千波中 児童生徒の実態から

【調査日：平成24年3月 調査対象：千波小4～6年生 千波中1，2年生】

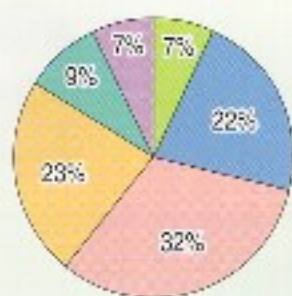
平日の家庭学習時間（千波小）

- 3時間以上
- 2時間以上
- 1時間以上
- 30分以上
- 30分より少ない
- 全くしない



平日の家庭学習時間（千波中）

- 3時間以上
- 2時間以上
- 1時間以上
- 30分以上
- 30分より少ない
- 全くしない

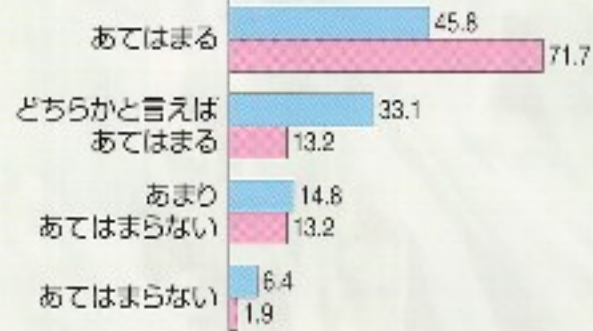


実態調査をもとに、これから伸ばしたい力や身に付けさせたい生活習慣を明らかにします。

それらを重点的に、小学校と中学校が一貫した指導を行い、よりよい児童生徒の育成を図ります。

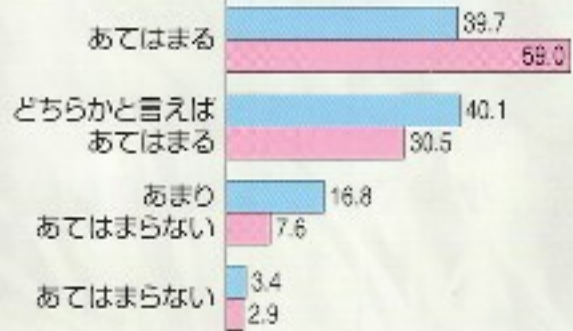
学校の宿題をしている

千波中 千波小 (%)



近所の人に出会った時にあいさつをしている

千波中 千波小 (%)



自分にはよいところがあると思う

千波中 千波小 (%)

